

文化と科学が共鳴する環境倫理を



7月11日に開かれた「第8回日常診療経験交流会」では、京都大学名誉教授で総合地球環境学研究所所長の山極壽一氏が「感染症とこれから期待される未来社会」と題して記念講演した。要旨を紹介する。

京都大学名誉教授
総合地球環境学研究所所長

山極壽一氏

接触機会の増加

私はゴリラの調査を行いながら、今回の新型コロナウイルスに似た「エボラウイルス」に出会ったことがあります。エボラウイルスの感染経路はゴモリゴモリと人間と言われています。しかし、ゴリラは主に昼活動するのに対して、ゴモリは夜活動するのため、本来接触機会は少ないはずですが、ゴモリからゴリラに感染したのでしょうか。その原因は、人間による森林の伐採だと言われています。伐採によって

環境が変わり、接触機会が増えていったのです。

次に、なぜゴリラから人間に感染が広がっていったのでしょうか。これもやはり人間が原因だと言われています。伐採会社が現地の人を雇うことで、地域に現金経済が導入されていきました。この結果、他にも現金を得る手段が必要となり、その一つが野生動物の狩猟でした。狩猟などによって、ゴリラと人間の接触機会が増えたことでエボラウイルスは急速に広がったのです。つまり「人間の文化の問題」と言えます。

高い共感力

ゴリラなどの類人猿は相手と向き合い互いに見つめあう「対面交渉」と呼ばれるコミュニケーションを取ります。この「対面」の重要性は、人間も同じです。この大きな理由が「目」にあります。特に人間は白目があり、目の動きを

文化の再構築

地球上の人類は、やがて敵対意識を育み「集団間の暴力」にも繋がっていきまします。

「人々が動き、集まる」という現代社会の特徴に乗じてパンデミックが広がっていきましました。私たちが人間はどこかで間違ったのかもしれない。ではどこで、どのように間違ったのでしょうか。

人間の脳は、ゴリラの脳の約3倍の大きさがあります。この脳の大きさについては「霊長類の大脳」の大きさは社会規模の増大に正の相関を持つ」という研究があります。集団の規模が大きくなると、その社会的複雑性によって脳が大きくなっていくと考えられます。

現在の社会の行き詰まりを乗り越える際に重要なのが二元論でも排中律でもない「容中律」の思想だと考えています。そして、日本には元々「容中律」の思想が文化として根付いています。この文化を生かすことが、これからの社会に必要な制約を受けていまます。しかし、今回得られた教訓や気づきによって文化の再構築が行われようとしています。



国宝・重要文化財②

涼風流れる優美な和鏡

に扇が広がり、その上に手折られたハギの枝が垂れる。下方ではすべてが虚空中であることを示すかのように二羽のスズメが遊ぶ。油断するとスズメ・ハギ・扇の描く線が

いずれのものか判然とせず、モチーフが浮き沈みをする視覚効果が魅力。特定の和歌に題材をとったかとも想像されるが定かではない。涼風が流れるような季節感あふれる表現が最大の見どころで

菖蒲扇面双雀文鏡 (重要文化財)

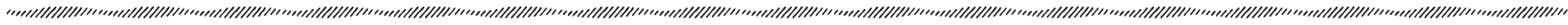


銅製 径21.2センチ 南北朝時代 14世紀
大阪市立美術館蔵 (田万コレクション)

ある。やや説明的な情景表現や、外縁の形状など

から南北朝時代(14世紀頃)の制作と考えられ

昭和28年(1953)に重文指定を受けた。和鏡とは日本製の鏡のこと。古来日本人は漢鏡や唐鏡といった中国製の鏡を珍重してきた。古墳に副葬された例や正倉院や社寺に蔵される中国製鏡は質が高く、かつ多量に及ぶ。古代の人々の志向をここに窺うことができるが、平安時代以降、中国の鏡をモデルに独自の表現を模索したのが和鏡である。神話世界や宇宙観、対称的で緊密な表現を得意とする中国鏡に対して、和鏡は美観に基づき季節感あふれる表現を一見散漫な形であらわすのを特徴とする。それが情緒を生み出すことは本鏡で明らかであろう。



参加ご希望の方は、必ず事前にお申し込み下さい。M&Dホールは保険医会館東隣りです。

協会行事案内

お申し込みは右のQRコードから協会行事予定の「お申込み」へ



<p>「Zoomのみ」大阪東部地区・同北部地区講習会</p> <p>患者からの暴力・ハラスメントの予防と対応 スタッフを守るために</p> <p>日時 8月28日(土) 午後6時~午後7時30分</p> <p>会場 ZoomによるWEB講習会</p> <p>講師 三木明子氏(関西医科大学看護学部教授)</p> <p>会費 会員・スタッフ無料 定員 60人</p>	<p>「Zoomのみ」政策学習会</p> <p>コロナ禍の総選挙で問われるものゝ命と暮らし最優先の政治へ(仮)</p> <p>日時 9月11日(土) 午後5時45分~7時15分</p> <p>会場 ZoomによるWEB講習会</p> <p>講師 石川康宏氏(神戸女学院大学教授・経済学者)</p> <p>会費 会員・スタッフ無料 定員 60人</p>	<p>「Zoomのみ」9月度生涯研修</p> <p>歯科用磁性アタッチメントの臨床応用</p> <p>日時 9月12日(日) 午前10時~午後1時</p> <p>会場 ZoomによるWEB講習会</p> <p>講師 鮎見進一氏(九州歯科大学歯学部歯学科口腔機能学講座顎口腔欠損再構築学分野教授)</p> <p>会費 会員3千円、未入会者1万円 定員 90人</p> <p>※参加費は登録口座からの引去とさせていただきます。</p>	<p>「Zoomのみ」歯科衛生士対象</p> <p>歯科衛生士さんに知っていただきたい小児歯科の基本と最近のトピックス</p> <p>日時 10月10日(日) 午前10時~午後1時</p> <p>会場 ZoomによるWEB講習会</p> <p>講師 仲野和彦氏(大阪歯科大学大学院歯学研究科小児歯科学教室教授)</p> <p>会費 5千円 定員 90人</p> <p>※お申し込みは協会ホームページ「行事予定」からお申し込み下さい。</p>
--	---	---	--

無料相談

法律	9月6日(月)	午後2時~4時
法律	9月15日(水)	午後2時~5時
雇用	9月16日(木)	午後2時~4時

※会場は保険医会館。1週間前までに要申し込み

未入会者とは、会員院所に勤める未入会勤務医です

※協会行事などを本紙等で報道・紹介するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。